

ならしん景気動向調査レポート

(第31回) 2022年 11月期

奈良信用金庫 経営企画本部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2022年11月
2. 調査時点..... 2022年11月
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	39	100.0%
不動産業	17	16	94.1%
サービス業	12	11	91.7%
卸売・小売業	31	30	96.8%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	9	9	100.0%
医療・福祉	12	12	100.0%
全業種合計	134	131	97.8%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう134社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、131社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

2022年11月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期比売上	前年同期比収益	残業時間	人材
製造業	39	39	100.0%	7.7%	23.1%	-15.4%	17.9%	35.9%	7.7%	2.6%	-12.8%
不動産業	17	16	94.1%	18.8%	31.3%	12.5%	12.5%	37.5%	31.3%	0.0%	-12.5%
サービス業	12	11	91.7%	36.4%	27.3%	27.3%	9.1%	36.4%	27.3%	-9.1%	9.1%
卸売・小売業	31	30	96.8%	-23.3%	6.7%	-26.7%	-6.7%	20.0%	-6.7%	-6.7%	-3.3%
建設業	14	14	100.0%	42.9%	42.9%	28.6%	50.0%	21.4%	42.9%	7.1%	0.0%
運輸業	9	9	100.0%	0.0%	0.0%	-11.1%	11.1%	22.2%	0.0%	-22.2%	-22.2%
医療・福祉	12	12	100.0%	25.0%	33.3%	25.0%	16.7%	33.3%	25.0%	-25.0%	-33.3%
全業種合計	134	131	97.8%	9.2%	22.1%	-2.3%	13.7%	29.8%	13.7%	-4.6%	-9.9%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	18	21	16	23		
不動産業	7	8	2	13		
サービス業	4	6	7	2		
卸売・小売業	13	16	9	20		
建設業	9	5	3	11		
運輸業	3	6	5	4		
医療・福祉	5	6	6	5		
全業種合計	59	68	48	78		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	(2) <u>やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) <u>普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	(4) <u>やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	(1) <u>良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社}{60.0\%} \right] - \left[\frac{(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社}{20.0\%} \right] = 40.0\%$$

全体
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
2.3%	9.2%	6.9%	9.8%	22.1%	12.3%	-12.9%	-2.3%	10.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.7%	13.7%	-2.9%	23.5%	29.8%	6.3%	2.3%	13.7%	11.5%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
4.5%	-4.6%	-9.1%	-10.6%	-9.9%	0.7%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
55.9%	46.5%	-9.4%	35.7%	38.1%	2.4%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より6.9ポイント上昇し、良化傾向(9.2%)を維持した。変化幅を上方へと向かわせたのは主に「サービス業」「運輸業」という結果になった。

売上についても、前回調査時より12.3ポイントの上昇となり、良化傾向(22.1%)を維持。変化幅を上方へと向かわせたのは主に「サービス業」という結果になった。

収益面についても前回調査時より10.6ポイントの上昇となったものの、悪化傾向(-2.3%)を維持した。「サービス業」「運輸業」が上方へと向かわせる結果になった。

全体では前回同様に最も多くの企業が「仕入高・原材料高」を経営上の問題点として回答した。次点で「利益幅の縮小」、「人手不足」、「売上停滞・減少」、「経費の増加」と続いた。それらの解決策として「経費削減」「販路拡大」を当面の重点経営施策として挙げる企業が特に多く見受けられた。

特別調査では、円安進行に伴う資源高・原材料高の影響について企業に回答いただいた。資源高・原材料高への対応について最も回答が多かったのは「一部価格転嫁できている」「概ね価格転嫁できている」で37社であった。前回調査時に影響が大きかった「卸売・小売業」で「一部価格転嫁できている」と回答している企業が前回調査時より大幅に増加したことが特徴的であった。信用金庫に求めることについては「資金繰り支援(融資スタンス)」を求める企業が68社と最も多く前回とほぼ同様であった。また前回は「事業課題の共有・相談」が次点に続いたが、今回は「地域情報」が次点に続いた。借入によって資金調達を行ったのは回答者全体の46.5%となり、前回より9.4ポイント低下となった。

全業種合計の前年同期比売上は前回調査時に引き続き6.3ポイント上昇し、良化傾向(29.8%)を維持。前年同期比の収益についても引き続き11.5ポイント上昇し、こちらは良化傾向(13.7%)を維持した。

なお、設備投資を行ったのは全体の38.1%であり、前回調査時とほぼ横ばいの結果となった。

今後3ヶ月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より「悪い」と回答した企業が減少し、「やや良い」と回答する企業が増加した。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている19社 (2) 全く価格転嫁できていない6社 (3) 一部価格転嫁できている37社 (4) 概ね価格転嫁できている37社 (5) あまり影響を受けていない30社 (6) 今後影響を受ける見込みである3社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援68社 (2) 地域情報53社 (3) 業界動向27社 (4) 事業課題の共有・相談33社 (5) 補助金等の情報31社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング9社 (7) その他1社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」5社、「やや良い」31社、「普通」78社、「やや悪い」16社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」5社、「やや良い」38社、「普通」72社、「やや悪い」15社、「悪い」1社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」4社、「やや良い」27社、「普通」79社、「やや悪い」19社、「悪い」2社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

製造業	対象先 39	回答先 39	回答率 100.0%
------------	--------	--------	------------

**業種別
調査結果**

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
0.0%	7.7%	7.7%	7.9%	23.1%	15.2%	-26.3%	-15.4%	10.9%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
15.8%	17.9%	2.2%	13.2%	35.9%	22.7%	-7.9%	7.7%	15.6%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
2.6%	2.6%	-0.1%	-10.5%	-12.8%	-2.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
62.2%	46.2%	-16.0%	39.5%	41.0%	1.6%			

■概況 ※()内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時より7.7ポイント上昇し、良化傾向(7.7%)に転じた。
 売上金額については15.2ポイント上昇し、前回同様に良化傾向(23.1%)となった。
 原材料価格についても前回調査時と比較して13.4ポイント低下し悪化傾向(-89.7%)を示した。
 収益についても、前回比で10.9ポイント改善したものの、悪化傾向(-15.4%)を示した。

上記により資金繰りについては前回調査時より2.2ポイント改善し、良化傾向(17.9%)を維持した。
 なお、借入によって資金調達を行った先は全体の46.2%であり、前回より減少した。

前年同期比売上は前回より22.7ポイント増加し、良化傾向(35.9%)を維持。
 また、同収益は前回調査時より15.6ポイント増加となり、良化傾向(7.7%)に転じた。
 残業時間については前回から横ばいに推移し、良化傾向(2.6%)を維持した。
 人材については2.3ポイント低下し、悪化傾向(-12.8%)を維持した。
 なお、設備投資を行った先は全体の41.0%で、前回より1.6ポイント増加している。

■経営上の問題点

前回調査と同様に、経営上の問題点として「原材料高騰」が35社で最も多く、次点で「利益幅の縮小」が19社、「経費の増加」が15社と続いた。

■当面の重点経営施策

重点経営施策としては「販路拡大」と「経費削減」が21社と最も多かった。次いで今回は「技術力・営業力強化」が16社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている8社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている11社 (4) 概ね価格転嫁できている20社 (5) あまり影響を受けていない2社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援21社 (2) 地域情報14社 (3) 業界動向9社 (4) 事業課題の共有・相談16社 (5) 補助金等の情報13社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング3社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」10社、「普通」21社、「やや悪い」7社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」14社、「普通」18社、「やや悪い」6社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」8社、「普通」21社、「やや悪い」9社、「悪い」1社

売上金額に関しては前回調査に引き続き15.2ポイント上昇した一方で、原材料価格は13.4ポイント低下し、悪化傾向となった。収益についても前回より改善傾向であるものの、依然として悪化傾向という結果となった。

前回調査と同様に、原材料高による影響は大きく、経営上の問題点として「経費増加」や「利益幅の縮小」と回答する企業が増加した。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
31.3%	18.8%	-12.5%	25.0%	31.3%	6.3%	0.0%	12.5%	12.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
18.8%	12.5%	-6.3%	6.3%	37.5%	31.3%	6.3%	31.3%	25.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	0.0%	0.0%	-6.3%	-12.5%	-6.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
68.8%	46.7%	-22.1%	25.0%	13.3%	-11.7%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より12.5ポイント低下したものの、良化傾向(18.8%)を維持。売上についても6.3ポイント上昇し、良化傾向(31.3%)を維持。収益については12.5ポイント増加し、良化傾向(12.5%)となった。

資金繰りについては6.3ポイント低下したものの、良化傾向(12.5%)を維持した。借入によって資金調達を行った先は全体の46.7%であり、22.1%低下した。

前年同期比売上は31.3ポイント増加となり、良化傾向(37.5%)を維持した。同収益については、25.0ポイント上昇し、良化傾向(31.3%)を維持した。残業時間については前回調査時から横ばいに推移し、中立に転じた。人材については6.3ポイント低下し、悪化傾向(-12.5%)を維持した。設備投資実施企業は前回調査時と比べ11.7%低下したものの、良化傾向(13.3%)を維持した。

■経営上の問題点

経営課題としては、「仕入高」「売上停滞・減少」「商圈人口の減少」が4社で最も多かった。

■当面の重点経営施策

当面の対策は「販路拡大」「情報力の強化」がともに5社と最も多かった。次点で「経費削減」が3社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている1社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている3社 (4) 概ね価格転嫁できている0社 (5) あまり影響を受けていない10社 (6) 今後影響を受ける見込みである1社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援6社 (2) 地域情報6社 (3) 業界動向5社 (4) 事業課題の共有・相談2社 (5) 補助金等の情報2社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」12社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」12社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」12社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
不動産業は業況・売上・収益DIIに関しては全項目でポイント上昇し、良化傾向という結果となった。また、資金繰りについては前回調査時より6.3ポイント低下したものの、良化傾向となりました。今後3ヶ月見込みに関しては「やや悪い」「悪い」と回答した企業はなく、業界全体の業況として良好に推移している結果となった。	

サービス業	対象先 12	回答先 11	回答率 91.7%
-------	--------	--------	-----------

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-50.0%	36.4%	86.4%	-33.3%	27.3%	60.6%	-16.7%	27.3%	43.9%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.7%	9.1%	-7.6%	41.7%	36.4%	-5.3%	33.3%	27.3%	-6.1%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
33.3%	-9.1%	-42.4%	-16.7%	9.1%	25.8%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
63.6%	40.0%	-23.6%	36.4%	77.8%	41.4%			

■概況 ※()内はDI値
 医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から86.4ポイント増加し、
 良化傾向(36.4%)に転じた。
 売上金額については60.6ポイント増加し、良化傾向(27.3%)に転じた。
 収益についても43.9ポイント上昇し、良化傾向(27.3%)に転じた。
 一方で材料価格については20.5ポイント低下し、悪化傾向(-45.5%)を維持した。

前年同期比売上は前回調査時から5.3ポイント低下したものの、良化傾向(36.4%)を維持した。
 同収益については6.1ポイント低下したものの、良化傾向(27.3%)を維持した。
 人材についても25.8ポイント上昇し、良化傾向(9.1%)に転じた。
 一方で、残業時間については42.4ポイント低下し、悪化傾向(-9.1%)に転じた。

借入によって資金調達を行った先は前回より23.6ポイント低下し、40.0%であった。
 設備投資を行った先は全体の77.8%であり、前回調査時より41.4ポイント上昇した。

■経営上の問題点
 前回同様、「同業競争の激化」が6社で最も多く、次点で「利益幅の減少」「人手不足」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策
 当面の重点経営施策は前回同様、「経費削減」と回答する企業が7社で最も多かった。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている3社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている4社 (4) 概ね価格転嫁できている2社 (5) あまり影響を受けていない2社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援6社 (2) 地域情報6社 (3) 業界動向3社 (4) 事業課題の共有・相談2社 (5) 補助金等の情報4社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」8社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」7社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」1社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社

人流について通常時に戻りつつあり、業況・売上・収益DIは前回より大幅に上昇し、全て悪化傾向から
 良化傾向に転じました。
 材料価格については前回調査時より20.5ポイント低下しており、前回同様に経費削減を経営施策として
 回答した企業が目立ちました。
 今後3ヶ月見込みについては「やや悪い」と回答する企業が大幅に減少し、業況感の改善が見受けられ
 た。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-3.2%	-23.3%	-20.1%	3.2%	6.7%	3.4%	-19.4%	-26.7%	-7.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
9.7%	-6.7%	-16.3%	35.5%	20.0%	-15.5%	-6.5%	-6.7%	-0.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
3.2%	-6.7%	-9.9%	-12.9%	-3.3%	9.6%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
41.9%	44.8%	2.9%	29.0%	31.0%	2.0%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時から20.1%低下しており、悪化傾向(-23.3%)を維持した。売上に関しては3.4ポイント上昇し、良化傾向(6.7%)を維持。一方で収益については7.3ポイント低下し、悪化傾向(-26.7%)を継続する結果となった。

仕入れ価格については、前回調査時より17.8ポイント低下し、悪化傾向(-53.3%)を維持した。在庫については前回比で2.8ポイント上昇したものの、悪化傾向を維持した。

前年同期比売上については15.5ポイント低下したものの、良化傾向(20.0%)を維持。

また、同収益についてはほぼ横ばいに推移した。

人材については9.6ポイント上昇したものの、悪化傾向(-3.3%)を維持した。

残業時間については前回調査時より9.9ポイント低下し、悪化傾向(-6.7%)に転じた。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の44.8%でほぼ横ばいとなった。

設備投資割合についても、31.0%とほぼ横ばいの推移となった。

■経営上の問題点

前回調査時と同様に「材料高」が15社で最も多く、次点に「売上停滞・減少」が11社と続いた。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」が15社で最も多く、次点は「経費節減」が14社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている4社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている14社 (4) 概ね価格転嫁できている5社 (5) あまり影響を受けていない4社 (6) 今後影響を受ける見込みである2社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援18社 (2) 地域情報10社 (3) 業界動向4社 (4) 事業課題の共有・相談6社 (5) 補助金等の情報6社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング3社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」8社、「普通」15社、「やや悪い」6社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」9社、「普通」14社、「やや悪い」6社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」7社、「普通」15社、「やや悪い」7社、「悪い」0社

業況・収益DIにおいてともに前回調査時より低下している。仕入れ価格についても前回調査時より17.8ポイント低下しており引き続き悪化傾向となっている。

しかしながら、原材料高に対する対応において「一部価格転嫁できている」と回答する企業が増加するといった結果となった。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.7%	42.9%	7.1%	35.7%	42.9%	7.1%	28.6%	28.6%	0.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
50.0%	50.0%	0.0%	7.1%	21.4%	14.3%	14.3%	42.9%	28.6%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
14.3%	7.1%	-7.1%	14.3%	0.0%	-14.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	64.3%	14.3%	28.6%	21.4%	-7.1%			

■概況 ※()内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回調査時から7.1ポイント上昇し、良化傾向(42.9%)を維持した。

売上金額についても7.1ポイント上昇し良化傾向(42.9%)を維持。

受注残高は前回調査時よりも14.3%上昇し、良化傾向(42.9%)を維持した。

収益については、前回調査時から横ばいに推移し、良化傾向(28.6%)を維持した。

資金繰りについても、前回から横ばいに推移し良化傾向(50.0%)を維持した。

前年同期比売上は前回から14.3ポイント上昇し、良化傾向(21.4%)を維持した。

同収益についても、前回調査時から28.6ポイント上昇し、良化傾向(42.9%)を維持した。

残業時間については前回から7.1ポイント低下したものの、良化傾向(7.1%)を維持した。

人材については前回調査時から14.3ポイント低下し、中立に転じた。

借入により資金調達を行った先は64.3%であり、前回調査時より増加した。

■経営上の問題点

今回は「原材料高」が6社と最も多く、次点では「人手不足」が5社と続いた。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」が7社で最も多く、次点で「経費節減」が6社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている0社 (2) 全く価格転嫁できていない0社 (3) 一部価格転嫁できている4社 (4) 概ね価格転嫁できている7社 (5) あまり影響を受けていない3社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援9社 (2) 地域情報7社 (3) 業界動向3社 (4) 事業課題の共有・相談3社 (5) 補助金等の情報2社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7) その他1社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」3社、「普通」10社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」4社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」1社、「やや良い」2社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
業況・売上DIが前回調査時よりも上昇し、良化傾向を維持しました。 受注残高も前回より上昇し、良化傾向を維持しており、資金繰りについても問題なく推移している模様です。 経営上の問題点として「原材料高」と回答した企業の割合が建設業は最も多くありましたが、概ね価格転嫁できているとの回答が多くありました。 今後3ヶ月見込みについては対象企業の多くが「やや良い」「普通」と回答されました。	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	-55.6%	-11.1%	44.4%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-11.1%	11.1%	22.2%	11.1%	22.2%	11.1%	-44.4%	0.0%	44.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	-22.2%	-22.2%	-22.2%	-22.2%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
62.5%	33.3%	-29.2%	55.6%	55.6%	0.0%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より33.3ポイント低下し、中立に転じた。

売上金額が前回同様に横ばいに推移し、中立を維持した。

収益については44.4ポイント上昇したものの、悪化傾向(-11.1%)を維持した。

資金繰りについても前回調査時から22.2ポイント上昇し、良化傾向(11.1%)に転じた。

借入によって資金調達を行った先は全体の33.3%であり、前回より29.2ポイントの低下となった。

なお、設備投資を行った先は55.6%で、前回から横ばいの推移となった。

前年同期比売上は前回より11.1ポイント上昇し、良化傾向(22.2%)を維持した。

同収益については、44.4ポイント上昇し、中立に転じた。

人材については前回同様となり、悪化傾向(-22.2%)を維持した。

残業時間については、前回調査時から22.2ポイント低下し、悪化傾向(-22.2%)に転じた。

■経営上の問題点

「経費の増加」が5社で最も多く、次点に「売上停滞・減少」が4社と続いた。

経費の増加が前回同様に経営に大きな影響を与えていると考えられる。

■当面の重点経営施策

「経費節減」「販路拡大」がともに4社と最も多く、次点で「料金調整」が3社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する 影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている2社 (2) 全く価格転嫁できていない1社 (3) 一部価格転嫁できている1社 (4) 概ね価格転嫁できている2社 (5) あまり影響を受けていない1社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援3社 (2) 地域情報3社 (3) 業界動向2社 (4) 事業課題の共有・相談4社 (5) 補助金等の情報2社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング1社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」2社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

業況DIは前回調査時から低下した一方で収益に関しては大幅に改善する結果となりました。

資金繰りとしては22.2ポイント上昇し、良化傾向に転じました。

また、前年同期比収益については大幅にポイント上昇し、中立に転じました。

経営上の問題点としては前回と同様に「経費の増加」をあげる企業が最も多く、「利益幅の縮小」が影響を与えている可能性があります。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
25.0%	25.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	25.0%	8.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
16.7%	16.7%	0.0%	58.3%	33.3%	-25.0%	41.7%	25.0%	-16.7%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-16.7%	-25.0%	-8.3%	-25.0%	-33.3%	-8.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
50.0%	45.5%	-4.5%	50.0%	54.5%	4.5%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査から横ばいに推移し、良化傾向(25.0%)を維持した。売上金額についても同様に横ばいに推移し、良化傾向(33.3%)を維持した。また、ベツ稼働率については8.3ポイント低下し、良化傾向(25.0%)となった。通院者数については前回から16.7ポイント上昇し、良化傾向(41.7%)を維持した。収益についても前回調査より8.3ポイント上昇し、良化傾向(25.0%)を維持した。

資金繰りについては、前回同様に横ばいに推移し良化傾向(16.7%)を維持。借入によって資金調達を行った先は全体の45.5%であり、前回から4.5ポイントの低下となった。設備投資を行った先は54.5%と前回とほぼ横ばいに推移した。

前年同期比売上は前回調査時から25.0ポイント低下したものの、良化傾向(33.3%)を維持。同収益についても同様に、16.7ポイント低下したものの、良化傾向(25.0%)を維持。残業時間は前回から8.3ポイント悪化し、悪化傾向(-25.0%)を維持した。人材については前回から8.3ポイント低下し、悪化傾向(-33.3%)となった。

■経営上の問題点

前回と同様に「人手不足」が最も多く9社であった。次点で「人件費の増加」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

前回と同様に「人材確保」が10社で最も多く、次点で「経費削減」が4社と続いた。

■特別調査	円安進行に伴う資源高・原材料高の影響および今後3ヶ月の業績見込みについて
資源高・原材料高に関する影響・対応について	(1) 多大な影響を受けている1社 (2) 全く価格転嫁できていない2社 (3) 一部価格転嫁できている0社 (4) 概ね価格転嫁できている1社 (5) あまり影響を受けていない8社 (6) 今後影響を受ける見込みである0社
信用金庫に求めること	(1) 資金繰り支援5社 (2) 地域情報7社 (3) 業界動向1社 (4) 事業課題の共有・相談0社 (5) 補助金等の情報2社 (6) 事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7) その他0社
業績(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」1社
売上額(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」1社
収益(今後3ヶ月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」1社

前回調査時より全面的に数値はほぼ横ばいに推移し、業況・売上金額・収益DIは良化傾向を維持する結果となりました。

また、人材DIは前回調査時より低下し、悪化傾向となりました。前回調査同様、「人手不足」が経営上の問題点としてあげられ、残業時間は悪化傾向となっています。